

科目	倫理学	担当	岸 貴介	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

敢えて単純化して言えば、倫理学は「よく生きること」を探求する学問である。だが「よく生きる」とはどのようなことか。この問いを扱うに際し、本講義は「幸福」に注目し、過去の思想家の考え方も参照しながら考えていく。

きちんと受講することで期待される到達目標としては、次のものが挙げられる。すなわち、講義も参考にしつつ、講義で扱われる問題や、他の様々な問題について、まずは、自ら関心を持つようになること。次に、自ら問い直すことができるようになること。更に、自ら掘り下げて考える努力ができるようになること。

【履修注意】

毎回多くの文章を読み、考える。また、1回完結型の講義ではなく、複数回にわたり議論を積み重ねていく。更に、毎回小テストを行う予定である。従って、相当の日本語読解力に加えて、思考力・集中力・忍耐も要求される。これらの点を承知した上で履修すること(2年生以上も履修可)。

なお、毎回出欠確認を兼ねてコメントを書いてもらうことも考えている。また、毎回とは限らないが、内容に関連したワークシートを利用することも考えている。

【評価方法】

平常点10割で判断する。内訳は小テストが約6割、コメント・受講態度が約4割。出席点の設定は無いので注意。

【試験について】

実施しない。

【予習・復習】

文部科学省の指針に従えば、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要。

【教科書】

購入教科書なし(こちらで講義資料を用意する)。

【参考書】

なし。

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	イントロダクション	何をやるのか、いかにやるのか、受講者アンケート
2	幸福はよいものか?①	「いい(よい)」とはどういう意味か
3	幸福はよいものか?②	幸福の「よさ」について
4	ベンサムの実用論について①	功利主義、最大多数の最大幸福
5	ベンサムの実用論について②	功利主義に対する疑問
6	カントの道徳論について①	義務倫理学、傾向性、自由
7	カントの道徳論について②	道徳法則、仮言命法、定言命法
8	カントの道徳論について③	完全義務、不完全義務、尊厳、自律
9	ミルの道徳論について①	修正功利主義
10	ミルの道徳論について②	功利主義の正しさの「説明」、その検討
11	アリストテレスの道徳論について	徳倫理学、徳、中庸
12	キケロ、セネカの道徳論について	高貴さ、有利さ
13	ニーチェの道徳論について	強さ、弱さ、力、苦
14	まとめ①	それぞれの思想家の考えの整理、我々はどう生きるのがよいのか
15	まとめ②	我々はどう生きるのがよいのか(つづき)
16	おわりに	15コマの復習・確認・総まとめ